

泉崎村通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取り組みの方針～



スクラム応援隊による朝の交通安全見守り活動

令和4年6月

泉崎村通学路安全推進会議

1 プログラムの目的

平成24年に全国で登下校中の児童生徒が死傷する痛ましい事故が相次いで発生したことから、同年8月に各小学校PTA役員において緊急合同点検を実施しました。村教育委員会では、その結果を受けて関係機関と協議を行い、危険箇所に通交通安全看板を設置するなど対策を進めてきました。

泉崎村第5次振興計画では、「安全で快適に暮らせるむらづくり」を政策目標に掲げ、交通安全の推進、地域安全の推進、交通機関と道路の充実など各施策を進めています。村教育委員会においても、子ども達の登下校時における安全確保を目的に、泉崎村通学路安全プログラムを策定し、平成26年度より5年間、通学路における危険箇所の点検と対策に取り組んでまいりました。

近年においては、過去に取り組んできた通学路の歩道や交差点を中心とした基本的な環境整備に加え、ハード面における老朽対策、また道路境界における立木等の障害物など、通学路の安全確保に向けた継続的な検証の機会が重要となります。また、声かけ事案が多発するなど下校時における防犯上の安全対策も求められています。

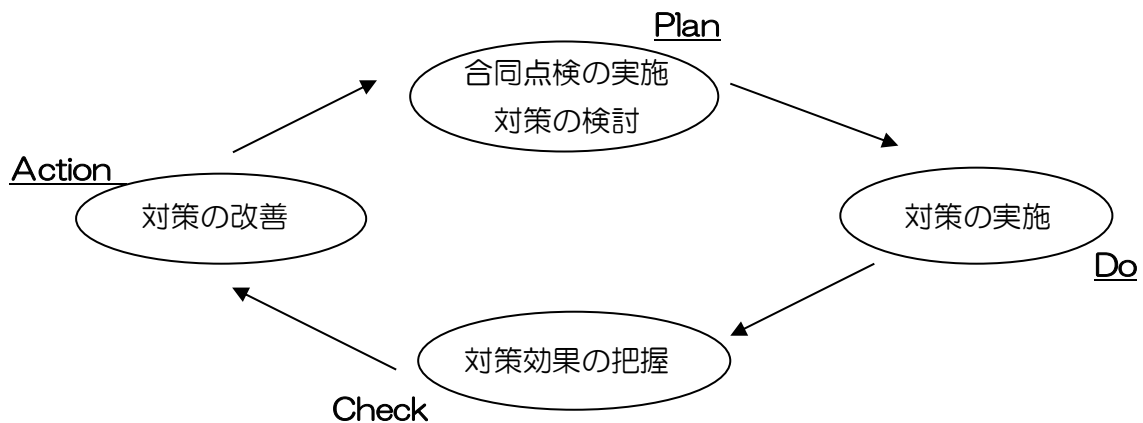
村教育委員会では、多角的な視野で通学路を点検する機会として、「泉崎村通学路安全推進会議」を以下の構成員で組織し通学路の安全確保に努めます。

2 取組方針

継続的に通学路の安全を確保するため、緊急合同点検及び合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善、充実を図ります。

これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図っていきます。

「通学路安全確保のためのPDCAサイクル」



3 年間計画

	項目	対象	時期	内容
1	定期的な合同点検	村内の各学校関係者と保護者	6月～7月	危険箇所の抽出 (保護者に対し、通学路危険箇所アンケートの実施)
2	対策の検討	第1回通学路安全推進会議	9月	第1回通学路安全推進会議を開催する。合同点検の結果を受け、対策必要箇所について、歩道整備や交通規制などの具体的な実施メニューを協議する。
3	対策の実施	通学路安全推進会議	随時	通学路安全推進会議での決定を基に、関係各機関が危険箇所に対し対策を実施。
4	対策箇所の公表	教育委員会	随時	合同点検結果や対策内容について、関係機関で情報を共有するため、「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成しホームページまたは広報等で公表する。
5	対策効果の把握	村内の各学校関係者と保護者	1月上旬	危険箇所に実施した対策内容を報告し、対策が有効であったかどうか、アンケート等を行い確認する。
6	対策の改善・充実	第2回通学路安全推進会議	3月上旬	第2回通学路安全推進会議を開催する。関係各機関が実施した対策内容についての報告を行い、「対策効果の把握」の結果も踏まえて、対策内容の改善・充実を図る。
7	対策結果	公表	3月下旬	当年度の経過、及び結果についてホームページで公表する。

4 通学路安全推進会議の構成

- 国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所
- 福島県県南建設事務所
- 白河警察署
- 村交通団体代表者（交通安全協会）
- 泉崎中学校代表者
- 泉崎第一小学校代表者
- 泉崎第二小学校代表者
- 泉崎村教育委員会
- 建設水道課
- 住民生活課